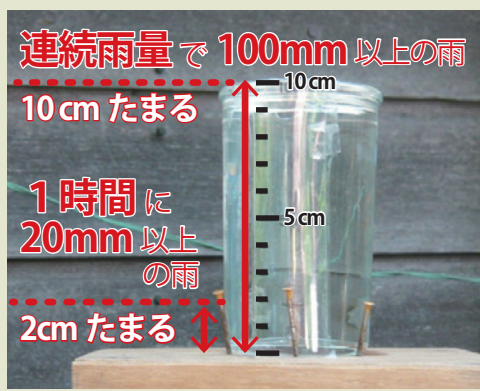


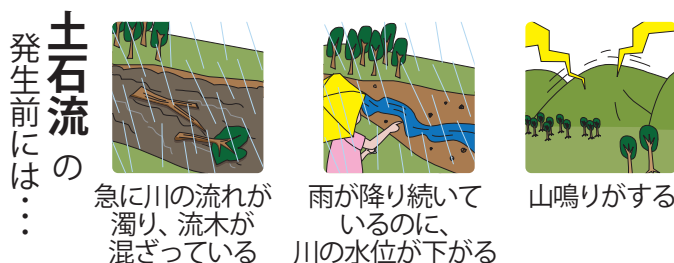
！雨量に注意する習慣をつけましょう

気象予報などを見るときには、雨量にも気を配る習慣をつけましょう。自宅周辺の雨量を測ることで、自宅周辺の土砂災害の危険の高まりを把握しやすくなります。
右図の雨量が土砂災害発生危険が高まる目安とされています。

高さ10cmのカップ酒の瓶を使うと風で倒れにくく便利です



！前ぶれ（予兆現象）に注意しましょう



この他にも・・・

- 地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
- ものの腐ったようなにおい（腐葉土、下肥のにおい）がする
- 小動物が異常行動（騒ぐなど）をとる など

！情報を積極的に収集し、避難対応に活用しましょう



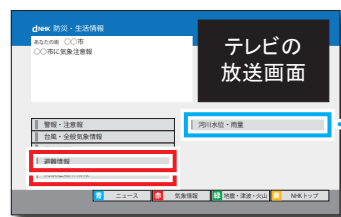
データ放送での確認方法 地デジテレビでNHK（地デジ1ch）を選択し、リモコンの**d** ボタンを選択

① 防災・生活情報を選択



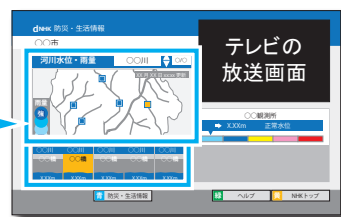
（テレビ画面イメージ図）

② 確認したい情報を選択



（テレビ画面イメージ図）

③ 河川の水位・雨量を確認



（テレビ画面イメージ図）

室浜町内会 洪水・土砂災害 自主避難計画

当町内会では、住民全員が**雨の量**や**周辺の様子**に注意し、地域で避難開始を判断して住民全員で避難する仕組みをつくりました。以下の項目をみんなで実践しましょう。

1 日頃から住民全員が やっておくこと

- 地域の避難箇所、避難経路を確認！！
- 雨量に気を配る習慣をつけましょう！！



『洪水・土砂災害緊急避難地図』（中面）を確認しておきましょう

2 雨が降り始めたら・・・

土砂災害発生危険が高まる目安は、**1時間雨量20mm、連続雨量100mm**の雨です

各自で雨量を計測（裏表紙を参照）

自主避難の基準 となる現象が起きていないか確認！！



3 自主避難基準 に達したら、町内会役員等に報告し、それぞれがすぐに避難対応！ →状況を共有して町内会みんなで避難対応！



自主避難基準 以下のような状況になったら、自主避難を開始してください。

- **自主避難の基準** が確認された場合（洪水・土砂災害緊急避難地図を参照）
- 地域内のがけや沢で **土砂災害の予兆現象**（裏表紙に示す現象）が確認された場合
- 釜石市役所が“避難準備・高齢者等避難開始”、“避難勧告”、“避難指示（緊急）”を発令した場合

※上記以外の状況でも避難が必要と思う状況になった場合や、台風接近などで早い段階で大雨が予想される場合においても、身を守ることを第一に考えた避難対応をしましょう。

いざというときの避難対応 ∥「**早めの避難**」が重要！避難に時間のかかる方は早めの行動が必要です∥

台風や深夜の大雨が事前に予測される場合	鵜住居小学校・釜石東中学校 第1体育館・第2体育館へ避難
遠くまでの避難が困難な場合	室浜集会所・屯所へ避難
移動に危険が伴う場合（すでに道路が冠水など）	がけや沢から少しでも離れた頑丈な建物の2階以上へ避難

状況によっては自宅待機が最も安全な場合もあります



※この計画は平成30年12月～平成31年2月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて、室浜町内会として検討したものです。

現在の技術では正確な雨量予測や災害発生地の特定が難しいため、避難勧告等に依存しすぎず、**地域住民自らで危険に気づき、いざというときに避難の判断につなげる**ことが大切です。

住民懇談会で把握した情報

- 比較的安全と思われる場所や建物
- 自主避難の基準
- 大雨が降ると確認されるいつもと違う現象
- 過去に発生した災害
- その他の事柄

土砂災害の危険性

(岩手県砂防基礎調査結果および土砂災害対策検討図に基づく)

- 土砂災害の危険性が**特に高い**区域(急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)・土石流)
- 土砂災害の危険性が**高い**区域(急傾斜地(がけ崩れ)の崩壊)
- 土砂災害の危険性が**高い**区域(土石流)

机上調査での結果を示しています。そのため、現地調査の結果によっては、範囲が修正となることがあります。

大雨時に起こったことを記録しておき、

自主避難の基準を見直し続けましょう

